



Education Insights Premium



本資料は、2022年11月現在の情報です。記載されている
日付や個々の機能などは変更される可能性があります。

教員: 学習者 1 人ひとりに合わせてデータに基づく指導をしたい



学習者の成績、学習状況、精神状態をひと目で把握する



データに基づくインサイトに従って 1 人ひとりに合わせた指導をし、学習の進捗を促す



共有のデータ セットを使って他の教職員と協同する



データのセキュリティとプライバシーを保護し、規制基準に準拠する





教育リーダー: 学校コミュニティ内でデータ主導の文化を構築したい



学校レベルでのトレンドと学習者の能力や成績を追跡する



さまざまな学習者のデータ セットをひと目で把握し、十分な情報に基づいて、リソースや時間を投資すべき分野を判断する



質の高い教育を行き渡らせるために、だれもがデータを活用しながら、その責任を担えるような環境を作る



教員へのサポートを通じて、学習者の潜在能力を引き出し、勉強を楽しめるようにする

IT 管理者: 学習者のプライバシーとセキュリティを重視したデータ ソリューションを必要としている



学習者を支援し力づけるために必要なデータを学校コミュニティに提供する



生徒情報システム (SIS) のデータを、学習段階に手間なく結び付ける



学習者のプライバシーとセキュリティを考慮、担保し、コンプライアンスを遵守したうえで、教員やスクールリーダーにデータへのアクセスを許可する



既存のテクノロジーへの投資から得られる利益を理解し、それを最適化して、組織全体でうまくいっている取り組みを再現する





Education Insights

www.educationinsights.com

学習者の学習状況、 ウェルビーイング、成果を 把握するにはデータが欠 かせない

教員や教育リーダーは、学習者の成績向上を効果的に支援するため、簡単にアクセスできる実用的なデータを必要としている

学習者の心の状態を認識し、支援の施策が機能しているかどうかを追跡するためには、データ収集が重要。

教員はデータの価値を理解しているものの、リモート学習、ハイブリッド学習、対面学習でデータを効果的に活用するには支援が必要。

新年度に向けて、教育リーダーにはタスクの優先度を判断するためのデータやサポートが不可欠。Education Insights Premium のようなツールなら、いずれも実現可能。



Education Insights Premium

学級レベルにとどまらず、学習コミュニティ全体にリアルタイムのインサイトを提供

● Education Insights (標準機能)

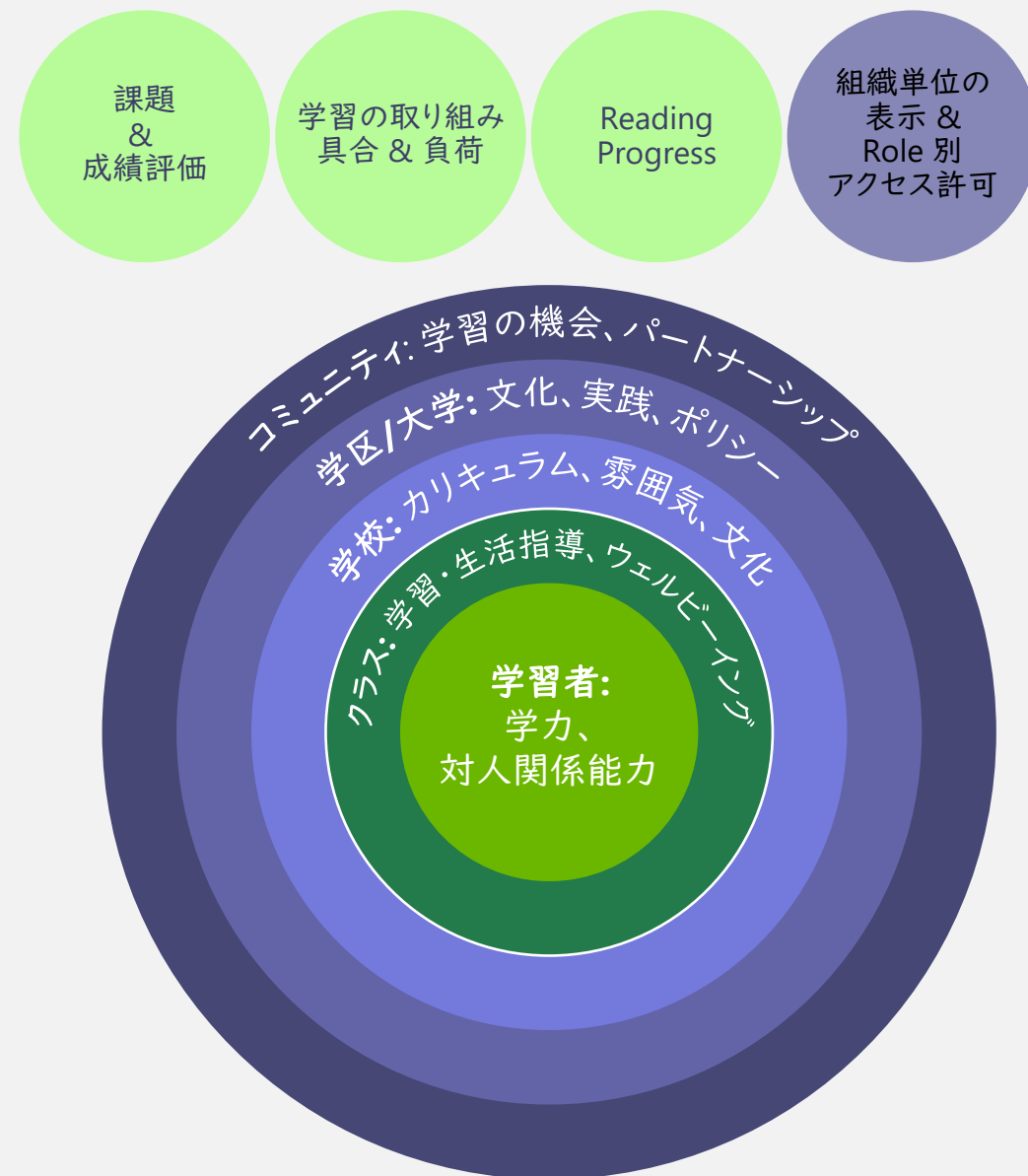
Microsoft 365 のお客様は無料で利用可能

教員が**学級**の様子を素早く察知したり、学習成果を向上させたりすることが、高度で使いやすい学習者分析機能により、容易になります。

● Education Insights Premium (有償)

学習者 1 人あたり年間 3 ドル

学級を超えて、教育リーダーや教職員がデータに基づいて協働できるようになり、学習者の成果を**組織全体**で引き上げることができます。



Education Insights Premium

詳細かつわかりやすいインサイトを活用して、組織内の学習者を包括的に把握

課題と成績評価 データを統合して学習の成果を 1 か所で確認

学習の取り組み具合 学習者の出席状況や発言などから把握

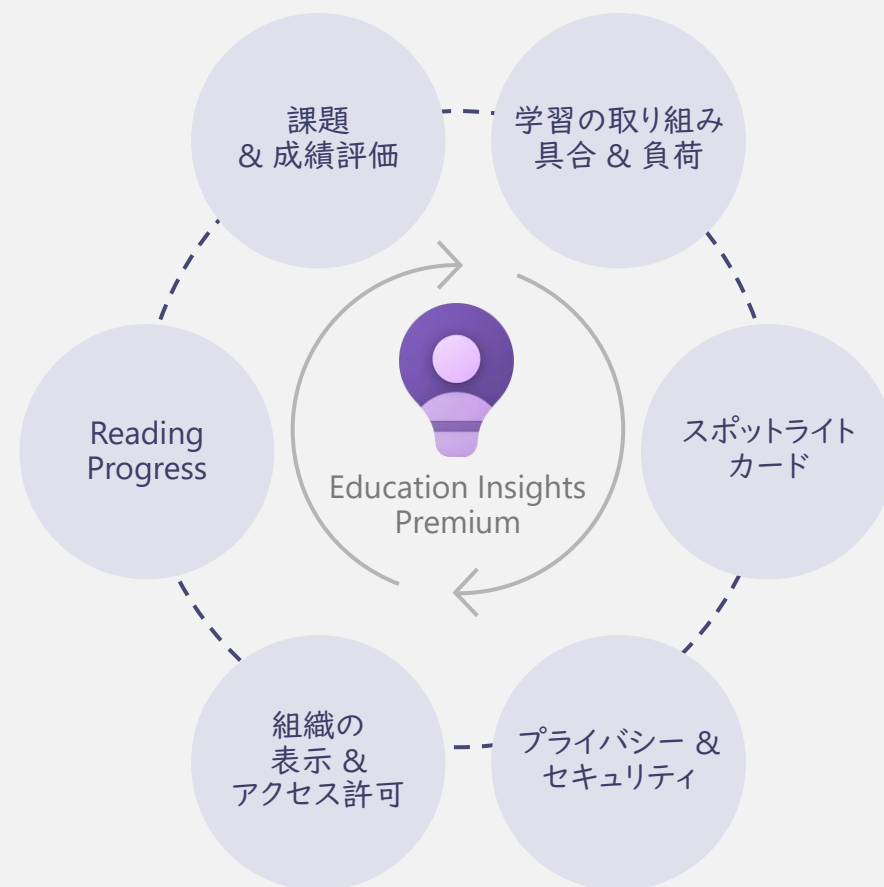
組織の階層構造 クラス、学年、学校レベルでトレンドを特定

スポットライト カード 注目のトレンドをすばやく把握

負荷 学校生活における学習者の負荷を理解

読み方の流暢さ Reading Progress と統合して流暢さを追跡

プライバシー & セキュリティ 90 種類以上の業界基準に準拠



Insights を
組織レベルで
活用



Premium

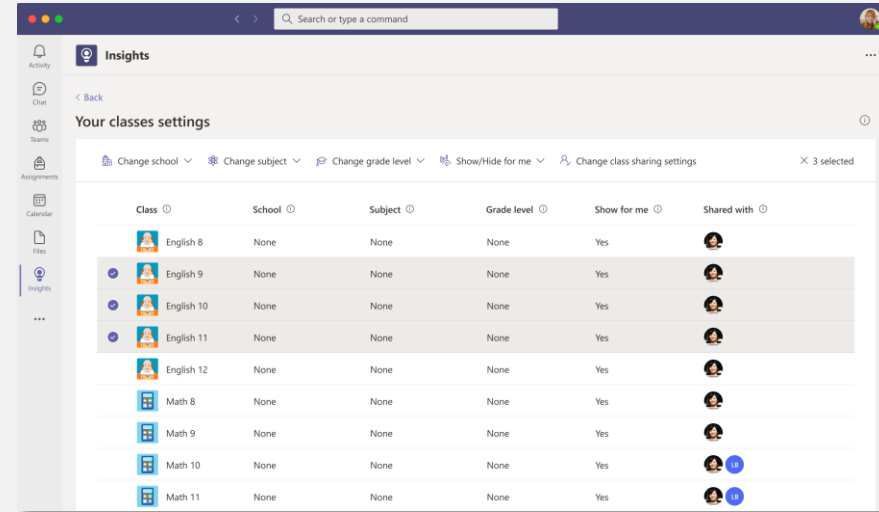
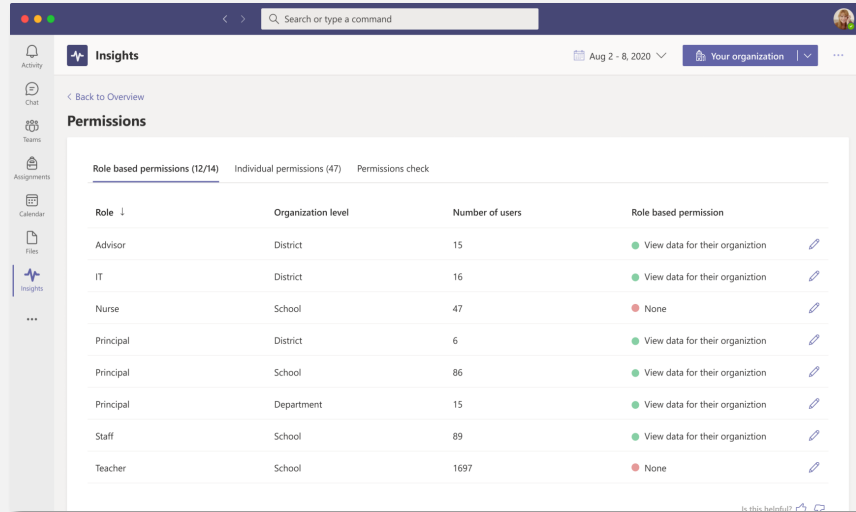
Insights Premium のオンボーディング

2 種類から選べる Insights Premium

Full

Quick

Soon

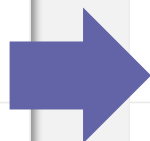


- ✓ IT 管理者が主導
- ✓ 組織の SIS データを活用
- ✓ 組織全体の階層構造を表示
- ✓ ロールベースのアクセス権を自動的に付与
- ✓ 複数の学年度をカバー (2023 年の新年度から開始)

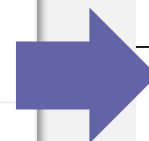
- ✓ 教員が主導
- ✓ IT 管理者に頼らなくても、手軽に導入
- ✓ クラスの情報や設定を組織全体に共有することで、協働や他のクラスへのアクセスが可能

階層構造内を移動

Organization ⓘ	
All schools	13,943
 Maple Leaf Elementary	3,635
 Sweet Valley Elementary	2,445
 Little Valley Elementary	1,325
 Mountain Oak Elementary	2,685
 Riverside Middle	2,118
 Upper Lake Middle	1,735



Organization ⓘ		Drill up
Marion Cross School		3,838
 First grade		735
 Second grade		694
 Third grade		645
 Fourth grade		621
 Fifth grade		572
 Sixth grade		571

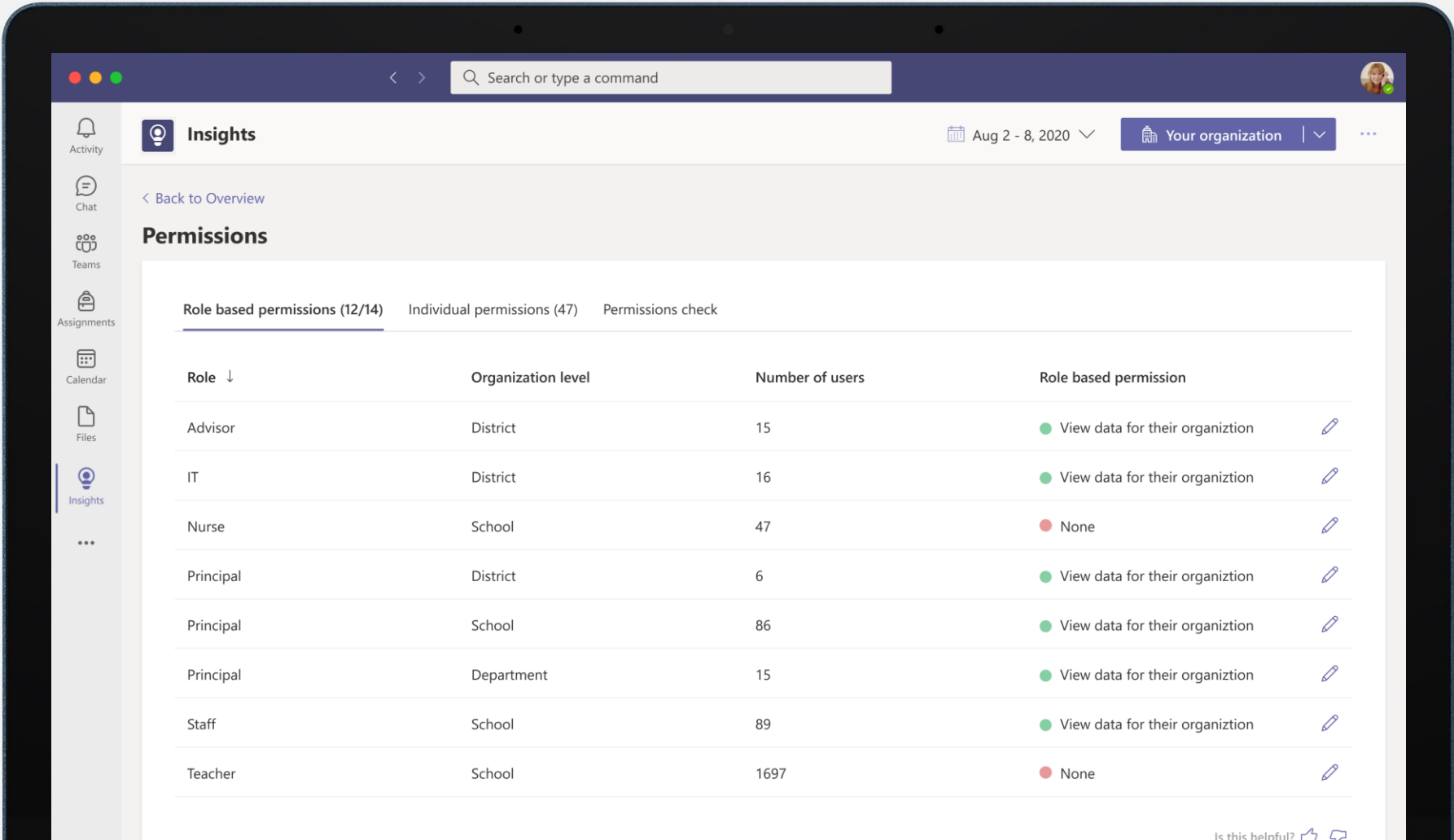


Organization ⓘ		Drill up
First Grade		83
 Math 1		31
 Literature 1		28
 Science 1		24

Premium

ロールベースの権限

組織内の学習者に関するインサイトを収集



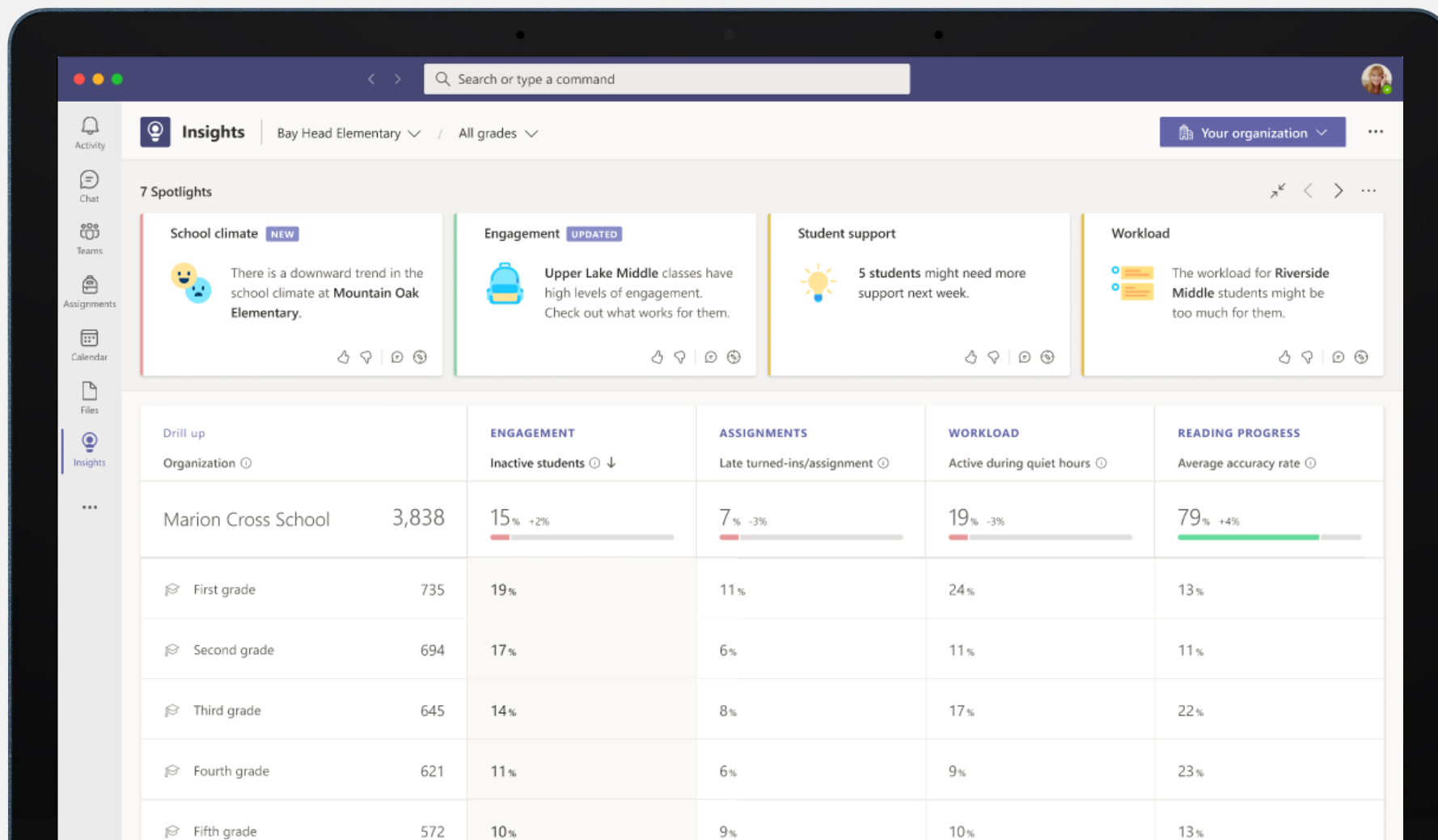
The screenshot displays the Microsoft Teams 'Insights' section, specifically the 'Permissions' tab. The interface includes a sidebar with navigation options like Activity, Chat, Teams, Assignments, Calendar, Files, and Insights. The main content area shows a table of role-based permissions for 12 roles. The table columns are Role, Organization level, Number of users, and Role based permission. The permissions are categorized into 'View data for their organization' (green dot) and 'None' (red dot). Each row also has an edit icon (pencil).

Role ↓	Organization level	Number of users	Role based permission
Advisor	District	15	● View data for their organization
IT	District	16	● View data for their organization
Nurse	School	47	● None
Principal	District	6	● View data for their organization
Principal	School	86	● View data for their organization
Principal	Department	15	● View data for their organization
Staff	School	89	● View data for their organization
Teacher	School	1697	● None

Premium

組織

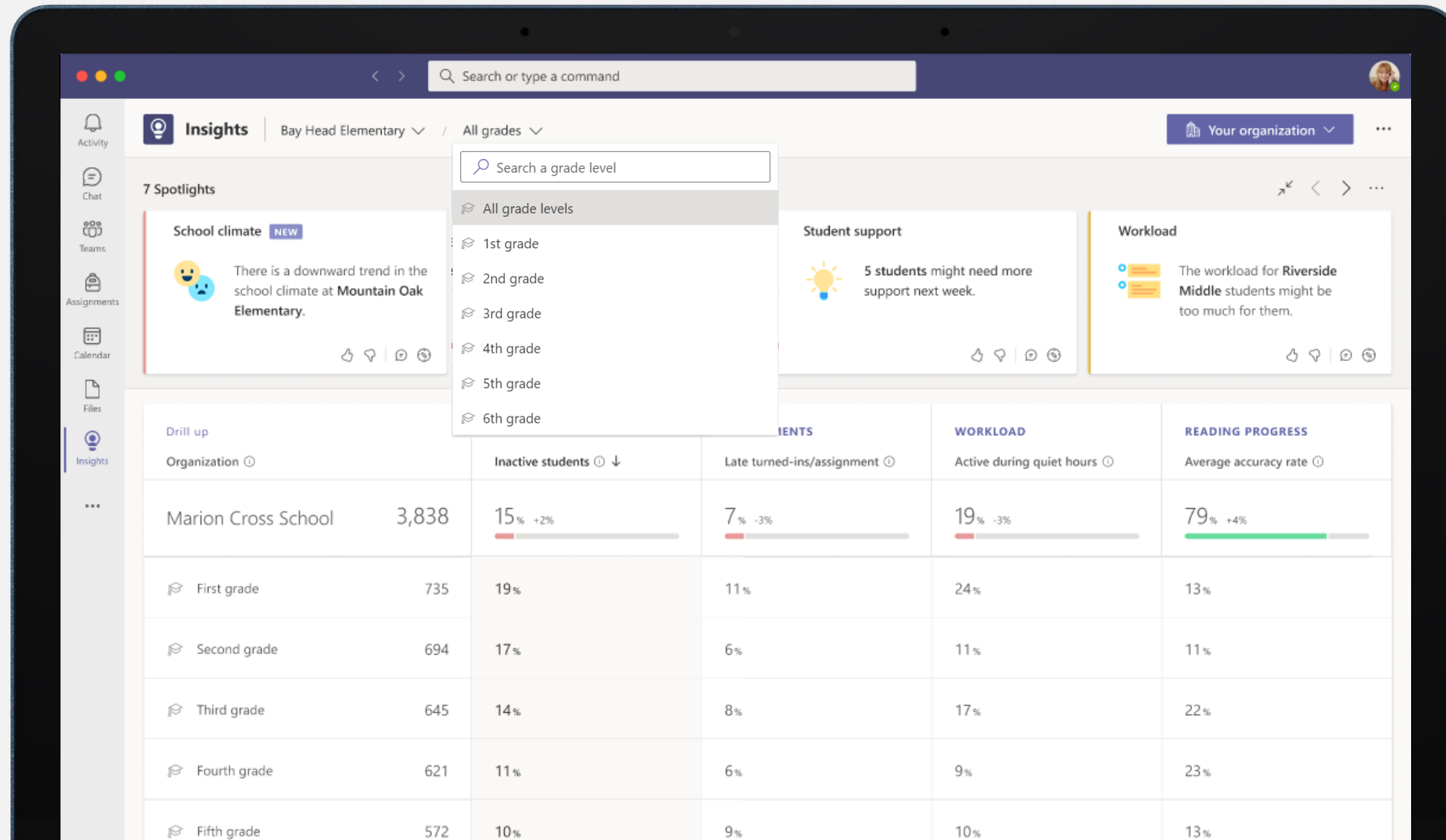
注意が必要な組織ユニットをすばやく把握する



Premium

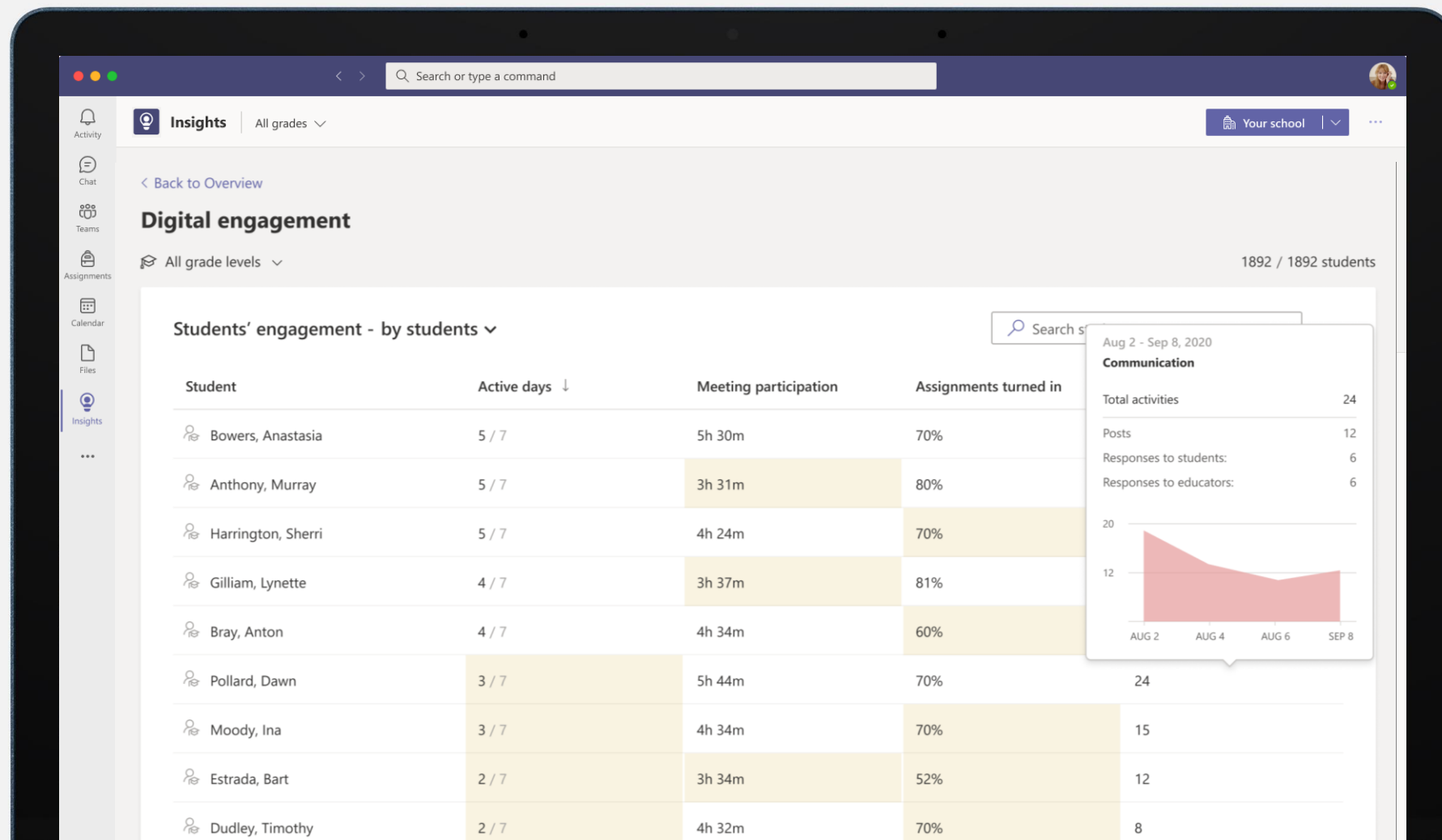
組織

組織内の移動も簡単



Premium

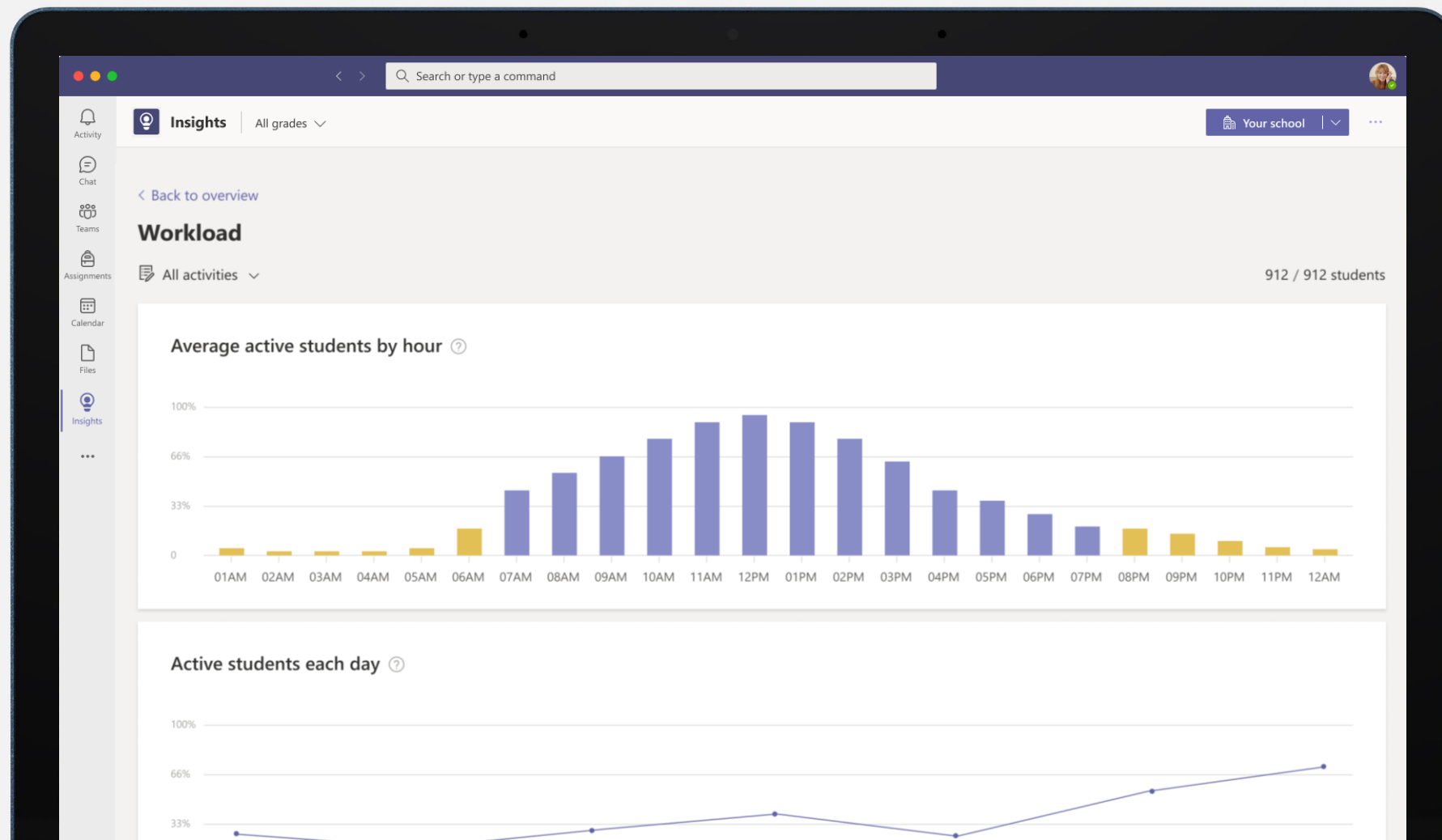
学習者の成功を支える柱 デジタル エンゲージメントを追跡



Premium

学習者の成功を支える柱

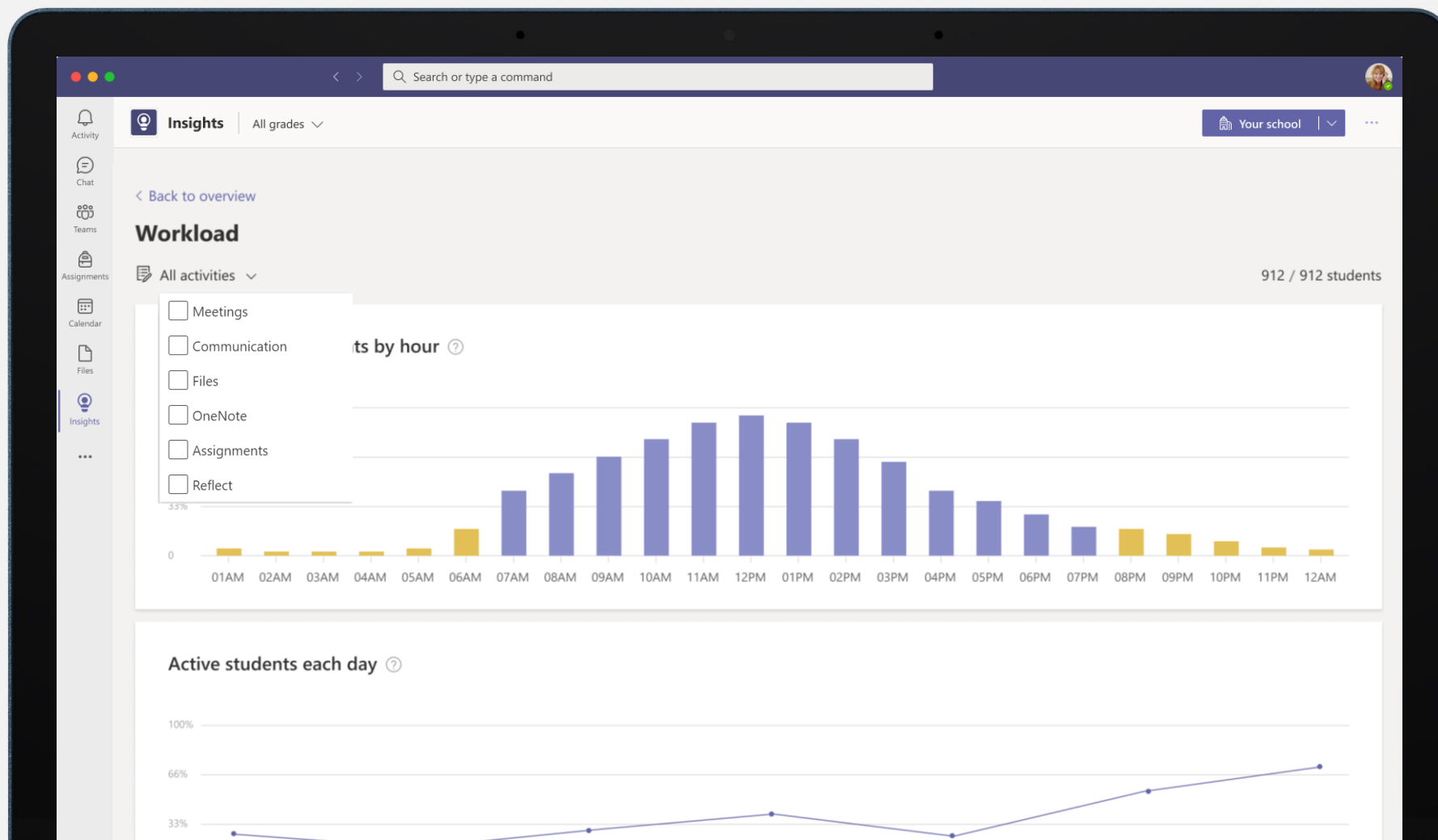
学習者の負荷を把握



Premium

学習者の成功を支える柱

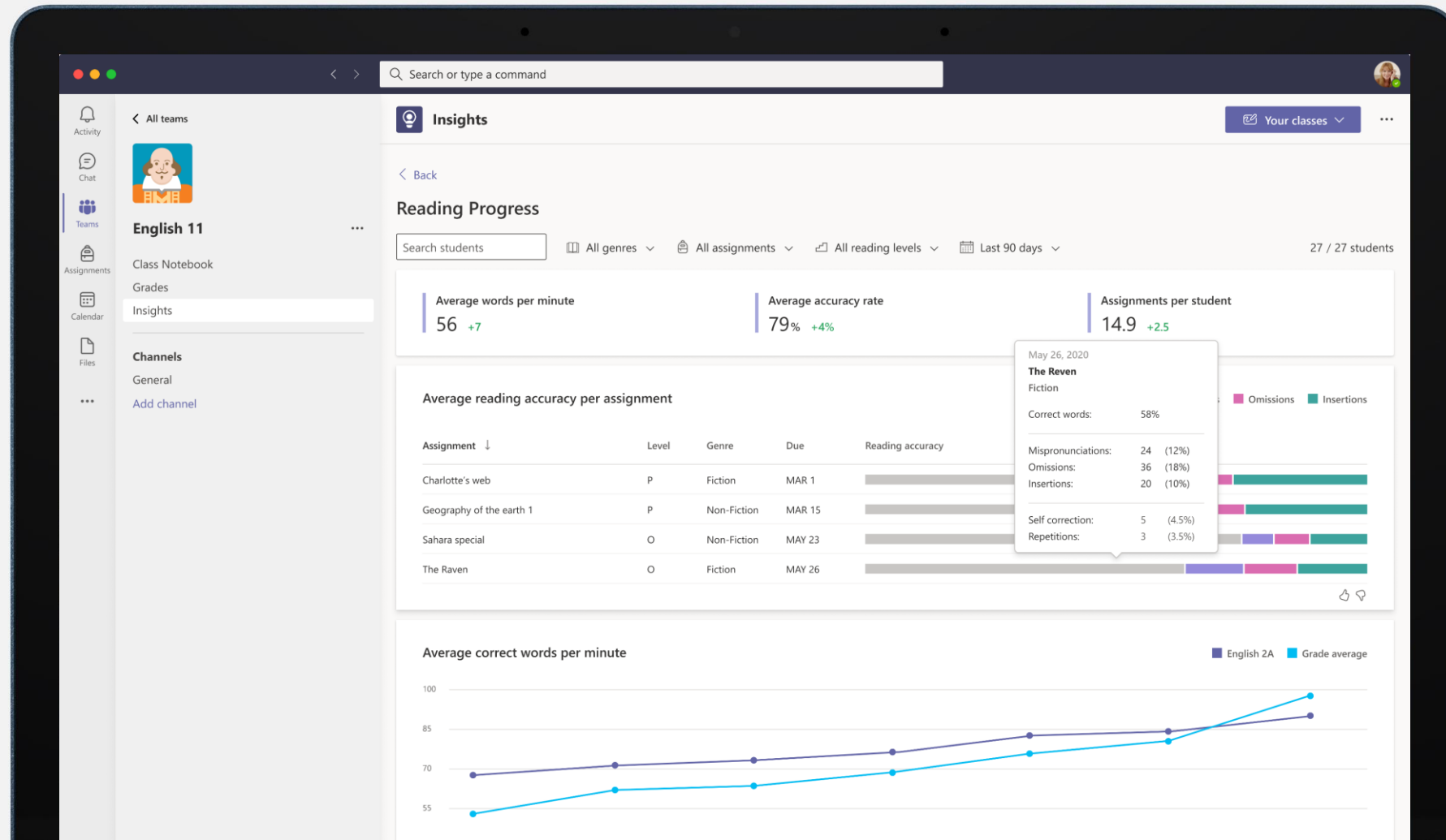
デジタル アクティビティへの参加状況を追跡

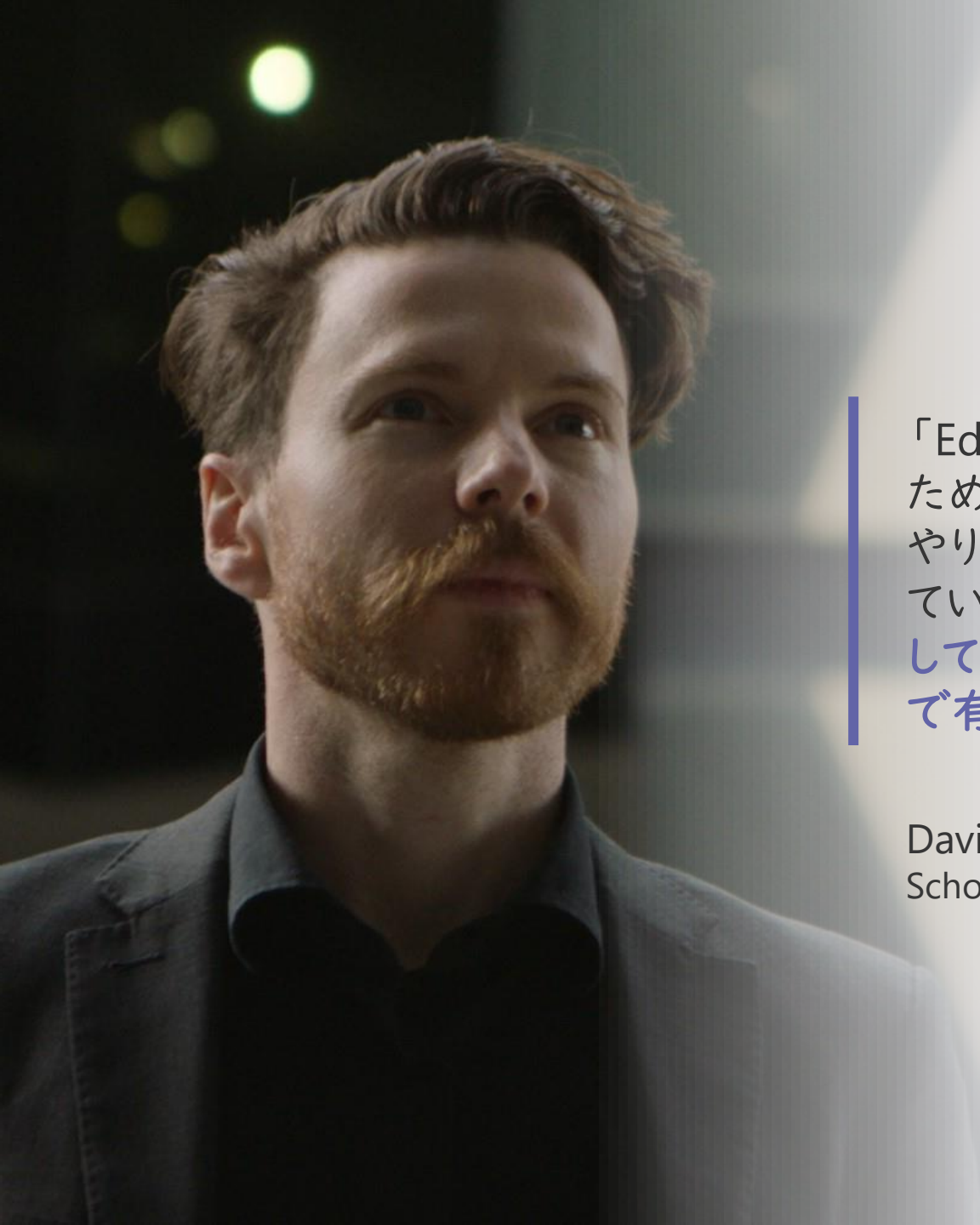


Premium

Reading Progress

学校や学区別に読み方の流暢さを追跡





「Education Insights は、学生とつながり、状況を把握するための不可欠な要素です。サポートが必要な学生と個別にやりとりする際に役に立ちます。また、クラス内で話題になっていることを広く把握するときにも便利です。**Teams** を利用している教員、教授、インストラクターなら、だれでも Insights で有用な情報を得ることができます」

David Kellermann 博士

School of Mechanical and Manufacturing Engineering, UNSW

Education Insights と、その他の教育機関向け製品や Teams データ製品の違い



Education Insights +
Education Insights Premium



Open Education
Analytics (OEA)



Viva インサイト

機能のしくみ	Teams for Education アプリでは、学習者のウェルビーイングと学習の進捗状況について分析できる	オープンソースのコミュニティリソースにより、学習者の高度な分析が可能	組織のだれもがプライバシーに配慮したインサイトと実用的な推奨事項を入手し、それをヒントにしてよりスマートに、バランスよく働くことができる
対象ユーザー	Microsoft Teams を使用する学校や大学	Microsoft Teams を使用する学校や大学	教育機関をはじめとする任意の企業や組織
データにアクセスできるユーザー	教員、教育リーダー、学習者、保護者(予定)	教育データサイエンティスト、教育リーダー	Exchange Online メールボックスを所有する任意のユーザー
データのアクセス先	Teams の Education Insights アプリ内	データは Azure で処理され、Power Apps やその他の高度なアプリケーションからアクセス可能	Teams の Viva インサイト アプリ内、ブリーフィングおよびダイジェストメール、Insights Outlook アドイン、MyAnalytics Web アプリ
詳細情報	Education Insights ページ (英語) Education Insights Premium ページ (英語)	OEA Web サイト (英語)	Viva インサイト ページ



学習を支えるデータ

90 を超える規制や業界標準に準拠

- GDPR
- FERPA (家族教育権とプライバシー法)



ニーズに合ったエディションを選択

	Education Insights すべての Microsoft 365 サブスクリプションに含まれる	Education Insights Premium 学習者 1 人あたり年間 3ドル*
ユーザー	学習者とクラスに関するインサイトを必要としている教員	クラス担任以外で、学校、学区、学年、クラスを全体的に把握する必要がある教員
提供されるデータ	Microsoft Teams と Office 365 アプリから収集されたデータに基づくレポート	Microsoft Teams と Office 365 アプリから収集されたデータに基づくレポート (階層構造、ロール、特別なプログラムといった SIS データにマッピング)
アクセス	教員がアクセスできるのは自分が担当するクラスの Education Insights のみ	教育リーダー、管理者、支援スタッフに、学区、キャンパス、教育機関にわたる教育関連のインサイトへのロールベースのアクセス権を付与可能
データ集計	最大 15 クラス	テナント内であればクラス数無制限

オンボーディングの手順

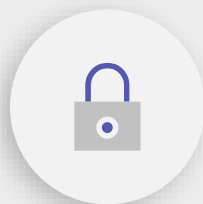
ステップ 1



組織、名簿データを同期

マイクロソフトが無料で提供している教育ツール、School Data Sync (SDS) で生徒情報システム (SIS) に接続すると、Insights に教育システムの階層構造が正しくマッピングされます。

ステップ 2



権限を管理

地区の責任者、学校長、教員、カウンセラー、科目責任者、プログラム ディレクター、ソーシャル ワーカー、ウェルビーイング コンサルタント、精神分析医などの教育リーダーに権限を付与します。

ステップ 3



導入プラン

Insights を使うことで組織の魅力を高められます。
各ロールのリソース ページから、手順書、ショートビデオ、活用方法を紹介する無料のコースをご利用いただけます。

AI の時代における感情と認知

心の状態は、学業や仕事の成果に影響します。
自己を認識し、生活をコントロールするためには、感情リテラシーが不可欠です。

感情が学習効率を左右する



80%

学力向上にはポジティブな感情が重要と考えている教員の割合

モチベーション、認知、エンゲージメントの基盤

学校でのあらゆる出来事が学習者の情緒の発達に影響する

教員の多くが、ウェルビーイングの優先度を認識

97% 多くの学校が、ウェルビーイングに関する正式なポリシーを定めているか、策定に向けて取り組んでいる

“感情が注意力和学習を促進する。気分は学習能力に大きく影響する。最適な学習環境を作るには、教員がこれを認識しておく必要がある。

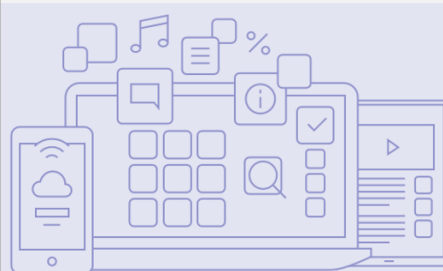
Marc Brackett 氏
Yale Center for Emotional Intelligence

ソーシャルエモーショナルラーニング (SEL) が EDU の中核

対人関係能力と学業成績に関する Aspen Institute Commission のレポートは、SELこそが教育そのものであると強調している

没入型エクスペリエンスで SEL をサポート

58% 教育アプリケーションや教育ソフトウェアの割合。学習エクスペリエンスを補完、拡張するため



エクスペリエンスの拡大

Reflect などのチェックインツールで、価値の確認、問題解決、対立解消の機会を提供する

社会性の高いテクノロジーで SEL をサポート

49% コラボレーション ツールの割合。学習は社会的活動であるため



深く理解するには、コラボレーションが必要

コラボレーションには、自己調整の能力が必要なため、心の知能指数に基づく自己認識が重要

集約データと分析が必要

46% 学習者の心の状態に関するデータと分析の割合。状況を把握することが学校の責任

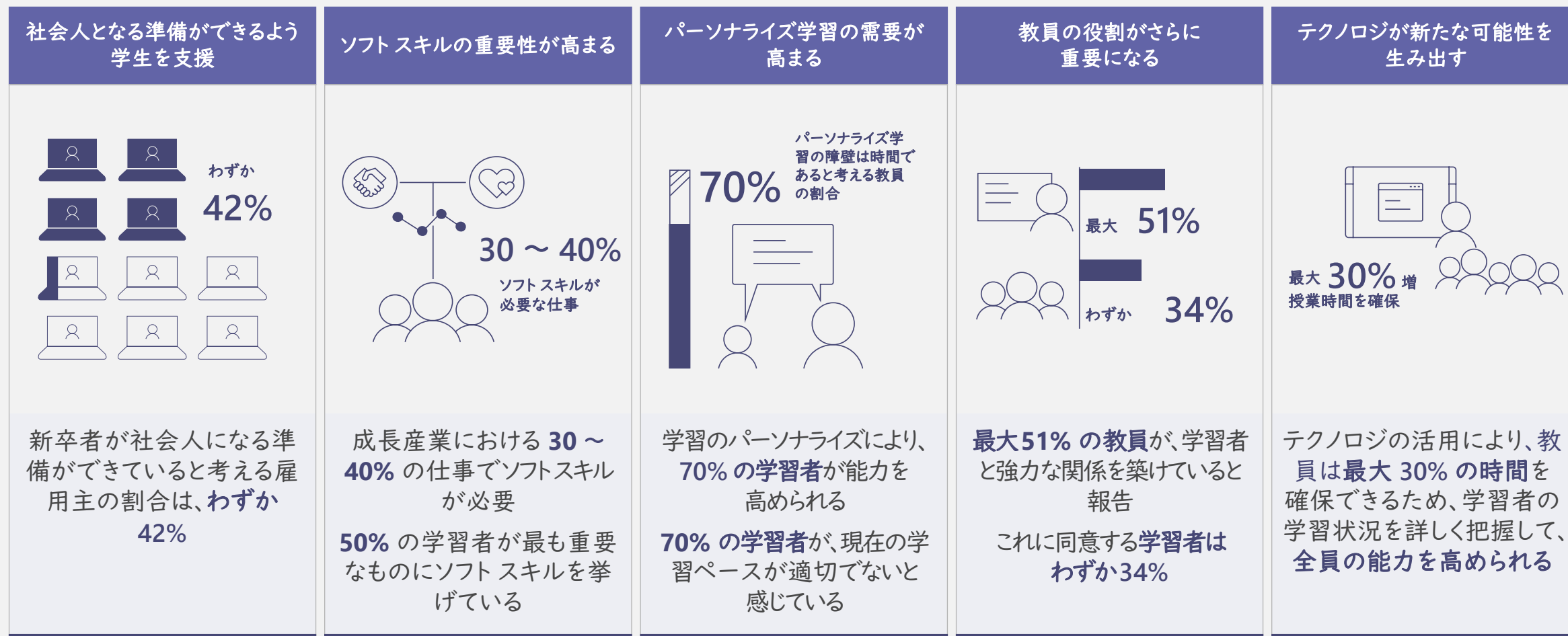


規模や精度を把握するにはインサイトが必要

学習者のメンタルヘルスや感情の健康状態を認識し、支援の施策が機能しているかどうかを追跡するうえで、データの収集が重要な役割を果たす

2030 年の教育に向けて

未来の学習環境は学習者が中心に: テクノロジによってソーシャル化し、パーソナライズされる



2030 年の教職員の予想と未来の教育

Z 世代が教室、大学、職員室に



最大で **5 世代**の教職員が共に勤務することになる。コミュニケーション、リーダーシップ、キャリア開発のスタイルにギャップが生じる

グローバルレベルで危機的状況にある需給バランス

6,900 万



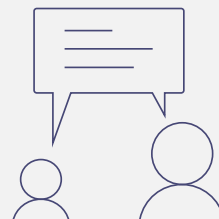
必要な教員数

2030 年までに、さらに **6,900 万人**の教員が必要
50%の教員が5年以内に退職している

多様な学習者のニーズへの対応は、優先すべき事項であり、課題でもある

38%

多文化の多様なクラスを担当できると考える教員の割合



モビリティの進展と、移民の増加に伴い、次世代の学習者は、人種や経済面で多様性が広がる

まだキャリアを積んでいない教員は、高次思考にテクノロジーを活用したいと考えている



教員が学習者の能力向上に役立つと考えている、上位2つのテクノロジスキル

- 学習者のために情報を有効活用するスキル
- データから関連性やパターンを導き出すスキル

新しい教員は進歩的な教育プランを支持している



48%

SEL の重要性が向上する割合

研修員または新人教員は、テクノロジーをさらに活用し、SEL に注力して、グローバルな問題にしっかりと取り組むべきだと考えている



Insights で学習環境を改善し、学力の向上と成長を支援